

理事長	法人本部長	係長	担当者

議 事 錄

日 付	平成 29 年 9 月 28 日 (木) (10:00~11:00)	ページ 1/2
議 題		開催場所 会議室
会 議 名	日だまりの家いづみデイサービスセンター 平成 29 年度第 2 回運営推進会議	
出席者名	板橋 純子 様 (虹の丘地域包括支援センター) 法人・施設 : 俊彦 (所長)・渡邊 伸 (係長) 安積 保 (事業推進主任) 欠席: 萱場 久美 様 (評議員) 萱場 久悦 様 (泉南地区民生委員児童委員) 本郷 克美 様 (上谷刈連合町内会会長 上谷刈狼河原町内会会長) 計 3 名 記入者 安積	

内 容

【運営状況報告】

⇒資料参照

七夕飾りについて銅賞をいただいている。

喉頭がん末期の御利用者を退院後に受け入れた。敬老会後、9 月下旬に亡くなっている。

■地域について。

板橋→泉中央、上谷刈、みずほ台の集会所で介護予防予防教室をやっている。

また、みずほ台、虹の丘集会所などで月に一回、ボランティアの協力をいただきカフェを開催予定。市民センター祭りで包括ブース出展予定。

コミュセン祭 10 月 14 に参加。介護予防のミニ講話をを行う予定。

■地域包括支援センターより情報提供

地域の高齢者の特徴。

認知症関係の相談が多い。→認知症なのか、高齢者鬱なのか。

家族からの相談。閉じこもりがちになり、本人は受診を拒否。

隣の住人に関する相談。庭に入ってくるなど。

虹の丘は医師や教師等が多く、相談に上がってくるのも遅く、認知症も重度化してからの相談が多い。加茂は歴史も長く、介護についても浸透している。自主グループも多く、活動も活発。加茂からの重度の方の相談は少ない。→重度化する前の相談。

成り立ちの新しい上谷刈、みずほ台あたりもアプローチしづらい。

上谷刈は戸立てで見ると高齢化率は高い。

添付資料 :

平成 29 年度第 2 回運営推進会議資料 (日だまりの家いづみデイサービスセンター)

H18年に包括ができた頃は、包括は不要とされていた。近所での互助等で成り立っていたところも多い。中へ入っていくのには、年月が必要。

渡辺→プロセスが大切ということですね。

■買い物支援について

今後、利用しやすいようハードルを下げる予定。

添付資料